

## 広島県人口移動統計調査乙調査票等審査要領

1	市区町要計表の確認及び訂正	1 ページ
2	乙調査票整理票の確認及び訂正	1 ページ
3	乙調査票の審査	2 ページ
4	乙調査票の整理番号及び市区町村コードの記入	4 ページ
5	審査において削除する乙調査票の取扱いについて	5 ページ
○	広島県人口移動統計調査市区町要計表記入例	6 ページ
○	広島県人口移動統計調査票乙調査票整理票記入例	7 ページ
○	人口移動統計調査乙調査票記入例	8 ページ
○	広島県人口移動統計調査市区町村コード一覧表	9 ページ
○	広島県人口移動統計調査都道府県コード一覧表	10 ページ

1 市区町要計表の確認及び訂正（参照：6 ページ記入例）※訂正は、二重線で見え消しの上補記

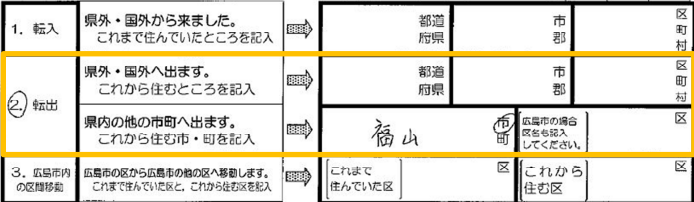
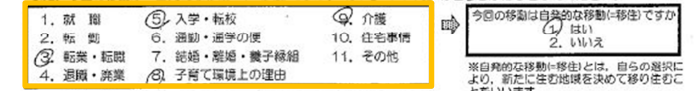
	チェック項目	対応方法
1	「転入」、「職権記載・転出取消」、「転出」及び「職権削除」の枚数は適当か	記入漏れ・記入誤りがある場合は、「枚数」を補記・訂正
2	市区町が記入している項目（「市区町名」、「〇年〇月分」等）の記入漏れ、記入誤りはないか	記入漏れ・記入誤りがある場合は、補記、訂正
3	審査の過程で調査票を削除した場合	「枚数」を訂正

2 乙調査票整理票の確認及び訂正（参照：7 ページ記入例）※訂正は、二重線で見え消しの上補記

	チェック項目	対応方法
1	「市区町名」、「市区町コード」及び「調査年月」欄の記入漏れ、記入誤りはないか	記入漏れ・記入誤りがある場合は、補記、訂正
2	調査票区分（1 転入・2 職権記載・転出取消・3 転出・4 職権削除）の○印に記入漏れ、記入誤りはないか	記入漏れ・記入誤りがある場合は、補記、訂正
3	枚数の記入漏れ、記入誤りはないか	記入漏れ・記入誤りがある場合は、「枚数」を補記、訂正
4	審査の過程で調査票を削除した場合	「枚数」を訂正

### 3 乙調査票の審査

	チェック項目	対応方法																																
1	乙調査票整理票の届出区分と異なる区分の乙調査票がないか	異なる区分の調査票があれば、正しい区分に編綴し直す																																
2	【設問 1】 「1. 転入」・「2. 転出」・「3. 広島市内の区間移動」欄のいずれかに○が記入されているか	記入がなければ、補記（調査票の記入内容から判断できない場合は、県に照会）																																
3	【設問 1】 転出入の住所地が適当な表現になっているか <table><tr><td>都道府県</td><td>高槻市</td><td>市郡</td><td>区町村</td></tr><tr><td>都道府県</td><td></td><td>市郡</td><td>区町村</td></tr><tr><td></td><td>市町</td><td>広島市の場合 区名も記入してください。</td><td>区</td></tr><tr><td>これまで 住んでいた区</td><td>区</td><td>これから 住む区</td><td>区</td></tr></table> <div>「大阪府」を補記</div>	都道府県	高槻市	市郡	区町村	都道府県		市郡	区町村		市町	広島市の場合 区名も記入してください。	区	これまで 住んでいた区	区	これから 住む区	区	都道府県名が記入漏れで、「高槻市」や「台東区」としか記入していない場合は、「大阪府」、「東京都」と推測して補記。 調査票の記入内容から判断できない場合は、県に照会																
都道府県	高槻市	市郡	区町村																															
都道府県		市郡	区町村																															
	市町	広島市の場合 区名も記入してください。	区																															
これまで 住んでいた区	区	これから 住む区	区																															
4	【設問 1】 転入の場合、「転入前の住所地」が広島県以外の都道府県又は国（外国）であるか（ <u>広島市の区間移動を除く</u> ）  【削除となる調査票の例】 <table><tr><td>1. 転入</td><td>県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入</td><td>広島市</td><td>都道府県</td><td>広島市</td><td>市郡</td><td>西</td><td>区町村</td></tr><tr><td>2. 転出</td><td>県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入</td><td></td><td>都道府県</td><td></td><td>市郡</td><td></td><td>区町村</td></tr><tr><td></td><td>県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入</td><td></td><td></td><td>市町</td><td>広島市の場合 区名も記入してください。</td><td></td><td>区</td></tr><tr><td>3. 広島市内の区間移動</td><td>広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入</td><td>これまで 住んでいた区</td><td>区</td><td>これから 住む区</td><td></td><td></td><td>区</td></tr></table>	1. 転入	県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入	広島市	都道府県	広島市	市郡	西	区町村	2. 転出	県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入		都道府県		市郡		区町村		県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入			市町	広島市の場合 区名も記入してください。		区	3. 広島市内の区間移動	広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入	これまで 住んでいた区	区	これから 住む区			区	広島県内からの転入であれば、広島市区以外は調査票を「削除」として外す
1. 転入	県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入	広島市	都道府県	広島市	市郡	西	区町村																											
2. 転出	県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入		都道府県		市郡		区町村																											
	県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入			市町	広島市の場合 区名も記入してください。		区																											
3. 広島市内の区間移動	広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入	これまで 住んでいた区	区	これから 住む区			区																											
5	【設問 1】 転出の場合、「転出先の住所地」が「元の市区町以外」であるか  【削除となる調査票の例】 提出先が福山市の場合 <table><tr><td>1. 転入</td><td>県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入</td><td></td><td>都道府県</td><td></td><td>市郡</td><td></td><td>区町村</td></tr><tr><td>2. 転出</td><td>県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入</td><td></td><td>都道府県</td><td></td><td>市郡</td><td></td><td>区町村</td></tr><tr><td></td><td>県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入</td><td></td><td></td><td>福山</td><td>市町</td><td>広島市の場合 区名も記入してください。</td><td>区</td></tr><tr><td>3. 広島市内の区間移動</td><td>広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入</td><td>これまで 住んでいた区</td><td>区</td><td>これから 住む区</td><td></td><td></td><td>区</td></tr></table>	1. 転入	県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入		都道府県		市郡		区町村	2. 転出	県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入		都道府県		市郡		区町村		県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入			福山	市町	広島市の場合 区名も記入してください。	区	3. 広島市内の区間移動	広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入	これまで 住んでいた区	区	これから 住む区			区	同じ市区町内への移動であれば、調査票を「削除」として外す
1. 転入	県外・国外から来ました。 これまで住んでいたところを記入		都道府県		市郡		区町村																											
2. 転出	県外・国外へ出ます。 これから住むところを記入		都道府県		市郡		区町村																											
	県内の他の市町へ出ます。 これから住む市・町を記入			福山	市町	広島市の場合 区名も記入してください。	区																											
3. 広島市内の区間移動	広島市の区から広島市の他の区へ移動します。 これまで住んでいた区と、これから住む区を記入	これまで 住んでいた区	区	これから 住む区			区																											

	チェック項目	対応方法
6	<p>【設問 1】 県内の他の市町へ出る転出の場合、「転出先の住所地」が適切に記載されているか。</p> <p>【削除となる調査票の例】提出先が「府中」と記載されており、市か町か不明の場合</p> 	<p>府中と記載されているが、「町」「市」欄に○がないものは「削除」として外す その他調査票の内容から判断できない場合は、県に照会</p>
7	<p>【設問 2】 移転の「理由」欄に、○が 1 つのみ記入されているか</p> <p>【県に照会する調査票の例】</p> 	<p>○が 2 つ以上ある場合は、県に照会</p>
8	<p>【設問 3】 移動する全員の「出生年月」欄に記入がされているか</p> <p>【訂正するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西暦で記入されていれば、和暦に訂正</li> <li>元号に○がない場合、判断できれば補記（63 年なら「昭和」など） ただし、明らかに判断不能なら調査票を「削除」として外す。</li> <li>元年は 1 年に訂正</li> <li>平成 31 年 5 月等は令和元年 5 月等に訂正</li> </ul> <p>【削除となるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記入がない。（複数人記入があり、その内の 1 人の出生年月が不明の場合も含む）</li> <li>年月でなく月日と思われる数字が記入されている（「1 年 20 月」など）。</li> </ul>	<p>訂正可能なものは訂正し、削除となるものは外す。（内容が不明瞭なものや判断に迷うものは、県に照会）</p>
9	<p>【設問 3】 移動の主な要因となった者が、乙調査票を回答時点で 15 歳未満の場合、「就労関係（就職・転勤・転業・転職・退職・廃業）」に○がないか</p> <p>【例】令和 5 年 1 月の乙調査票で、出生年月が平成 20 年 2 月の場合、15 歳未満と判断する。</p>	<p>ある場合、回答を「11. その他」に訂正</p>

	チェック項目	対応方法
10	<b>【設問 3】</b> 移動の主な要因となった者が、6 歳未満の場合、「05. 入学・転校」に○がないか  <b>【例】</b> 令和 5 年 1 月の乙調査票で、出生年月が平成 29 年 2 月の場合、6 歳未満と判断する。	ある場合、回答を「11. その他」に訂正
11	<b>【設問 3】</b> 世帯員が 5 人を超えている場合（調査票が 2 枚以上にわたるとき）	複数枚にわたる同一世帯の調査票であることが分かるように、設問 3 以外は同じ内容を記入し、右上スペースに「1 / 2」、「2 / 2」、…と付し、2 枚目以降の調査票の設問 3 は、1 枚目からの連番「6、7、…」に修正。この場合、複数枚で 1 枚と数える。
12	<b>【設問 3】</b> 世帯員が複数の場合で世帯員番号 2～5 番のうちの一人を消去した場合	元の世帯員番号を二重線で見え消しし、番号を繰り上げる。 （例：世帯員 1～3 で 2 番目を消去した場合、世帯員番号 3 が 2 になり、1 と 2 の計 2 人となる。）
13	<b>【設問 3】</b> 「単身赴任による移動」欄に、「1. はい」に○がある場合、移動する世帯員は 1 人か	世帯員が複数いる場合、「1. はい」の回答を二重線で見え消し、「2. いいえ」を補記
14	<b>【設問 4】</b> 移動の主な要因となった者の 15 歳の時の住所地（中学卒業時）が、記入されている場合、調査票提出市町（整理票の市町名）と、違う市町の住所地が記入されているか	同じ市町が記入してある場合、二重線見え消しで訂正
15	<b>【設問 5】</b> 居住の見込みに記入があるか	記入がない場合、「3. わからない」に○を補記

#### 4 乙調査票の整理番号及び市区町村コードの記入

##### （1）整理番号の記入

市区町ごと、乙調査票整理票の届出区分ごとに乙調査票右上の「整理番号」欄に連番を記入する。

〈例〉中区：転入 80 枚、転出 120 枚であった場合

採番しない → 001 番～100 番

転入→101 番～150 番、201 番～230 番 （内訳：50 枚＋30 枚）

転出→301 番～350 番、401 番～450 番、501 番～520 番 （内訳：50 枚＋50 枚＋20 枚）

※ 世帯員が 5 人を超え、乙調査票が 2 枚以上 となる場合は、同一の整理番号 とする。

※ 追加の乙調査票がある場合に対応できるよう、50 番以降 はここでは採番しない。

## (2) 市区町村コード

ア 乙調査票整理票の区分「1. 転入」及び「2. 職権記載・転出取消」の乙調査票は、【項目1】で記入の転入前の住所を、「3. 転出」及び「4. 職権消除」の乙調査票は、転出後の住所に相当する都道府県・市区町村コードをそれぞれ上部の該当欄に記入する。

なお、広島市の場合は、それぞれの区の市区町村コードを記入する。(例：広島市中区 34101)

イ 乙調査票の【項目4】で記入されている住所に相当する都道府県・市区町村コード（県内：市区町村コードまで、県外：都道府県コードまで）をそれぞれ下部の該当欄に記入する。

広島県内の合併前の市町村名が記入されている場合

⇒ 現在の市町に該当する市区町村コードを記入する。

広島市の場合

⇒ 区ではなく、広島市の市区町村コード(34100)を記入する。

## (3) その他

都道府県・市区町村コードについては、「都道府県・市区町村コード一覧表」を電子媒体(Excel)により県から受託業者に提供する(広島県内の市区町に係る市区町村コード及び都道府県コードについては、当該審査要領の9頁及び10頁にも記載)。

## 5 審査において削除する乙調査票の取扱いについて

(1) 乙調査票の審査において乙調査票を削除するために抜き取る場合は、削除の妥当性を判断するため、電子メールにより県に確認を行うものとする。

なお、確認を行う際は、削除するために抜き取った乙調査票がどの市区町から提出されたものか分からなくならないよう留意すること。

(2) 削除するために抜き取った乙調査票は、市区町順(市区町村コードの昇順)に並べた上で一括して編綴し、審査済みの乙調査票とともに県に返却すること。

(3) 削除するために抜き取った乙調査票の調査枚数は、「広島県人口移動統計調査業務納品書」(様式4)の「削除枚数」欄に含めること。

# 記入例

様式第2号(第8条関係)

## 広島県人口移動統計調査

### 市区町要計表

(令和8年4月分)

市区町名 ○○市

区 分	枚 数	人 数	摘 要
1 転 入	98	147	
2 職権記載、転出取消	0	0	
3 転 出	354	410	
4 職 権 消 除	2	2	
計	454	559	

(担当課名 : )

(担当者名 : )

☆ 1か月間に該当がない場合は「0」を記入してあるか

広島県人口移動統計調査票  
乙 調査票整理票

記入例

(調査票50枚ごとに添付してください)

市 区 町 名	市 区 町 コ ー ド		
三 次 市	1 2	0	3 9

調 査 年 月 (西暦)						転 入	職 権 記 載 転 出 取 消	転 出	職 権 消 除
2	0	2	3	年	月	4 1	2	(3)	4

(該当欄の番号に○印をしてください)

整 理 番 号	枚 数	人 数
~	50 枚	70 人





人口移動統計調査乙調査票

記入例

整理番号

00101

調査への御回答のお願い

※この調査は広島県人口移動統計調査規則に基づいて実施しています。

- この調査は、どのような年齢の人が、どのような理由で移動するのかなどを調べ、県や市町における住促進対策などの地域づくりの基礎資料を得ること目的として行っています。
- 御回答いただいた内容は、統計資料を作成するために使用され、個人が特定されることはありません。
- 調査への御回答をお願いします。太枠の中を記入してください。

乙整理票ごとに連番を記入

1 今回の住民票の届出は、転入ですか、転出ですか。  
どちらかの番号に○をして、住所地（国外の場合は都道府県欄に国名）を記入してください。

① 転入

県外・国外から来ました。  
これまで住んでいたところを記入

2. 転出

県外・国外へ出ます。  
これから住むところを記入

県内の他の市町へ出ます。  
これから住む市・町を記入

3. 広島市内の区間移動

広島市の区から広島市の他の区へ移動します。  
これまで住んでいた区と、これから住む区を記入

千葉県 都道府県

松戸 市郡

区町村

都道府県

市郡

区町村

市町

広島市の場合  
区名も記入  
してください

区

これまで  
住んでいた区

区

これから  
住む区

区

2 移動する理由は何ですか。主な理由を一つだけ選んで番号に○をしてください。（用語の説明は裏面にあります。）  
また、今回の移動が“自発的な移動”（＝移住）ですか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

1. 就職

② 転勤

3. 転業・転職

4. 退職・廃業

5. 入学・転校

6. 通勤・通学の便

7. 結婚・離婚・養子縁組

8. 子育て環境上の理由

9. 介護

10. 住宅事情

11. その他

今回の移動は自発的な移動（＝移住）ですか  
① はい  
2. いいえ

※自発的な移動（＝移住）とは、自らの選択により、新たに住む地域を決めて移り住むことをいいます。

3 移動する全員の方の性別を選んで○をし、出生年月を記入してください。  
また、「1 移動の主な要因となった方」は単身赴任による移動ですか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

	性別	出生年月
1 移動の主な要因となった方	① 男・女	（ 明治・大正・昭和・平成・令和 ） 54 年 7 月
2 一緒に移動する方	男・② 女	（ 明治・大正・昭和・平成・令和 ） 51 年 4 月
3 //	男・女	（ 明治・大正・昭和・平成・令和 ） 年 月
4 //	男・女	（ 明治・大正・昭和・平成・令和 ） 年 月
5 //	男・女	（ 明治・大正・昭和・平成・令和 ） 年 月

項目4で記入されている住所地コードを記入  
県内：市区町コードまで（広島市は区の記入があっても広島市のコード100を記入）  
県外：都道府県コードまで

単身赴任による移動ですか  
1. はい  
2. いいえ

4 移動の主な要因となった方が、15歳の時（中学卒業時）に住んでいた市町村は、この調査票を提出する市町と同じですか。違う場合には、15歳の時の住所地を記入してください。

違う場合

広島 都道府県

安芸 市郡

府中 区町村

市区町村コード

34302

★現在の市区町村名で回答してください。（不明な場合は、旧市区町村名を記入してください。）

5 今回の移動先（転入先又は転出先）に5年以上住む予定ですか。一つだけ選んで番号に○をしてください。

① 1. 住む

2. 住まない

3. わからない

※項目4、5は、Uターン（15歳の時の住所地が県内で、県外から転入し5年以上居住予定）など、交流・定住人口の状況を調べるものです。

6 県や市町が提供している移住・定住に関する情報についてお聞かせください。

① 1. 知っており利用した

2. 知っているが利用しなかった

3. 知らなかった

広島県人口移動統計調査市区町村コード一覧表

(令和4年12月現在)

市区町	コード	市区町	コード
( 広島市 )		( 安芸郡 )	
中区	101	府中町	302
東区	102	海田町	304
南区	103	熊野町	307
西区	104	坂町	309
安佐南区	105		
安佐北区	106	( 山県郡 )	
安芸区	107	安芸太田町	368
佐伯区	108	北広島町	369
呉市	202	( 豊田郡 )	
竹原市	203	大崎上島町	431
三原市	204		
尾道市	205	( 世羅郡 )	
福山市	207	世羅町	462
府中市	208		
三次市	209		
庄原市	210	( 神石郡 )	
大竹市	211	神石高原町	545
東広島市	212		
廿日市市	213		
安芸高田市	214	*****	
江田島市	215	不明	999

広島県人口移動統計調査都道府県コード一覧表

都道府県名			コード	都道府県名			コード
北	海	道	01	京	都	府	26
青	森	県	02	大	阪	府	27
岩	手	県	03	兵	庫	県	28
宮	城	県	04	奈	良	県	29
秋	田	県	05	和	歌	山 県	30
山	形	県	06	鳥	取	県	31
福	島	県	07	島	根	県	32
茨	城	県	08	岡	山	県	33
栃	木	県	09	広	島	県	34
群	馬	県	10	山	口	県	35
埼	玉	県	11	徳	島	県	36
千	葉	県	12	香	川	県	37
東	京	都	13	愛	媛	県	38
神	奈	川 県	14	高	知	県	39
新	潟	県	15	福	岡	県	40
富	山	県	16	佐	賀	県	41
石	川	県	17	長	崎	県	42
福	井	県	18	熊	本	県	43
山	梨	県	19	大	分	県	44
長	野	県	20	宮	崎	県	45
岐	阜	県	21	鹿	児	島 県	46
静	岡	県	22	沖	縄	県	47
愛	知	県	23	国		外	48
三	重	県	24	不		明	99
滋	賀	県	25				